



IXIL エルスター 上げ下げ窓(連窓方立) 組立て・取付け説明書

●この説明書は必ず取付けされる方にお渡しく下さい。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■組立て・取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立て・取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

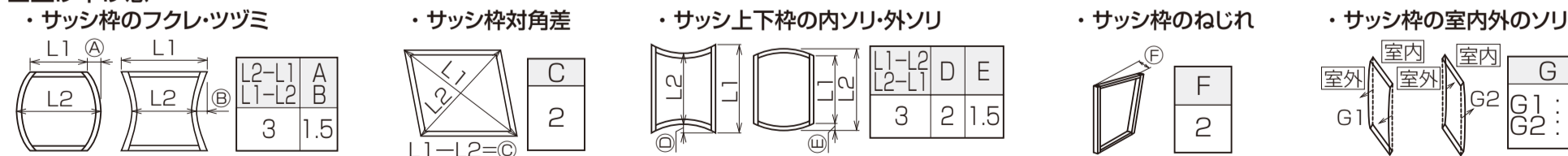
- 本製品は、組立て後の連窓ガラス入り製品重量が最大で111kg(ガラスなしで29kg)となりますので下記事項をお守りください。
 - ・製品を運んだり取付ける場合、重量に見合った人数で作業を行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品を浴室に使用しないでください。
 - ・指定個所には必ずコーキング材(別途)を充てんしてください。
 - ・連窓方立に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
 - ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$)のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
 - ・上・下キャップ取付け後、指定個所に防水補助シール(同梱)を張付けてください。
 - ・上・下キャップは必ず指定のねじで固定してください。
 - ・方立に張付けてあるシール材のリケイ紙をはがしてから組立ててください。
 - ・縦枠と連窓方立が当たるまで引き寄せてからねじ止めしてください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・サッシ枠回りの防水テープ(別売り)を張る前に、必ず上・下キャップ回りの防水補助シールのリケイ紙をはがしてください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・枠の上下を確認して正しく取付けてください。

■組立て・取付け上へのお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
 - 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
 - 上げ下げ窓部の組立ては、「上げ下げ窓 組立て・取付け説明書」を参照してください。
 - 本説明書および取付けねじセットは、必ず施工される方へお渡しく下さい。
 - ソリ防止のため、ひなたを避け、できるだけ室内に保管してください。
 - 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
 - サッシ(梱包品・完成品とも)は直射日光を避け、建物内の風通しのよい場所に保管してください。
 - 樹脂は熱により変形するおそれがありますので、炎天下の屋外に放置しないでください。
 - 樹脂の表面は傷つきやすいので、ぶつけたり、こすったりしないでください。
 - 樹脂部材をねじ止めする場合は、締めすぎないようにしてください。樹脂が割れたり、ねじが貫通するおそれがあります。
 - 躯体に固定する際は、サッシ枠に上障子を取付けた状態で固定してください。
 - 網戸の取付けは、網戸に同梱の説明書を参照してください。
 - シーリング材はシリコン系・変成シリコン系・ウレタン系が使用できます。ポリサルファイド系はサッシが変色するおそれがありますので、使用しないでください。なお、サッシとの接着性を高めるために、必ず指定のプライマーを使用してください。プライマーを塗布後プライマーを十分乾燥させてからシーリングを行ってください。プライマーの溶剤成分が残り表面のひび割れやハガレが発生するおそれがあります。
 - 窓まわりのシーリング材は下記のシーリング材を使用してください。右記のシーリング材以外を使用されますと、表面のひび割れやハガレが発生するおそれがあります。
- ※右表のシーリング材は、弊社試験確認済みの物です。
 ※清掃が必要な場合は、ノルマルヘキサンを使用してください。それ以外の有機溶剤は使用しないでください。サッシの変色や、表面のひび割れ、ハガレが発生するおそれがあります。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

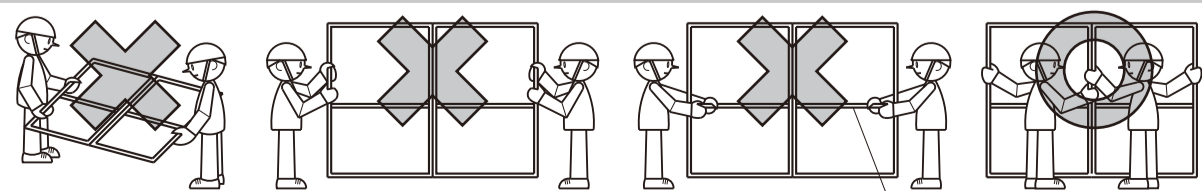
メーカー名	製品名	種類	プライマー
オート化学工業(株)	オートイクシード	1成分形ポリウレタン系	OP-2019
	オートン超耐シーラーTF2000		
	オートンサイディングシーラント		
サンスター技研(株)	ペンギンシール2550TypeNB	1成分形変成シリコン系	US-3
	ペンギンシール2550HM	1成分形変成シリコン系	
	ペンギンシール2550LM	1成分形変成シリコン系	
	ペンギンシール2570TypeNB	2成分形変成シリコン系	
	SUNSTAR Penguinサイディング/ALS用シーリング	1成分形変成シリコン系	
セメダイン(株)	POSシールマルチノンブリード	1成分形変成シリコン系	MP-1000
横浜ゴム(株)	Hamatite SC-PU2NB	2成分形ポリウレタン系	NO.30
旭トステム外装(株)	AT-WALL 窯業サイディング純正シーリング変成シリコン(VSLM5, VSL3, VSLF3)	1成分形変成シリコン系	VPM100F
	AT-WALL 窯業サイディング純正シーリングウレタン系(VSLNK32N)	1成分形ポリウレタン系	VPM150AN
	Danサイディング純正シーリング(WHTR, WEYBA, WEYBB)	1成分形変成シリコン系	サンスター技研(株) US-3

■上げ下げ窓



■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。召合せ部を持たないでください。製品が破損するおそれがあります。



召合せ部

■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。

①	㊦	㊧
ナベタッピンねじ (1種) φ4×8	皿タッピンねじ (1種) φ4×12	ナベドリルねじ φ4×30
㊨	㊩	㊪
ナベタッピンねじ φ4×20	ナベタッピンねじ (1種) φ4×35	皿木ねじ (色なし) (室外側用)
㊫		
薄平木ねじ (色つき) (室内側用)		

■部材一覧表

連窓方立 (アルミ)	室内カバー (樹脂)
室外カバー (アルミ)	アングル (樹脂) ※アングルなしの場合のみ同梱

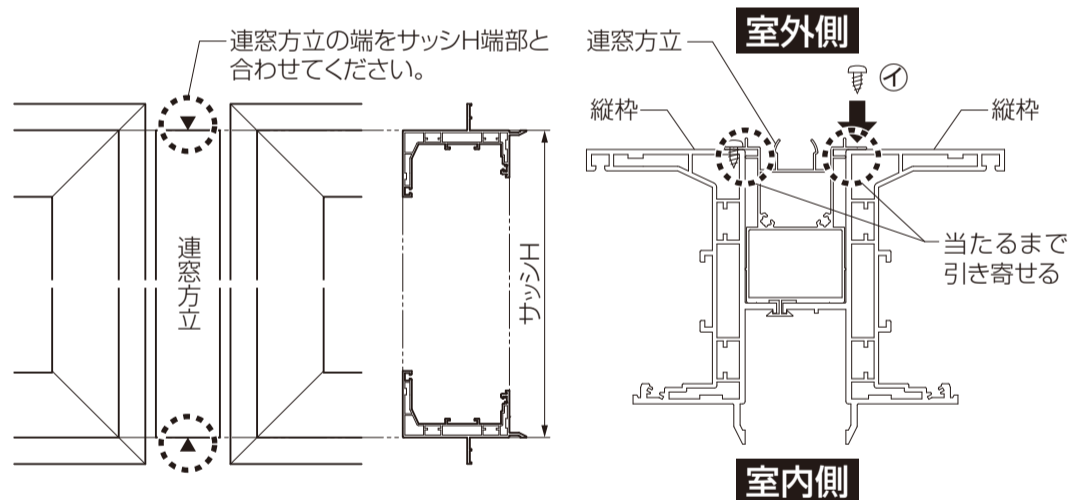
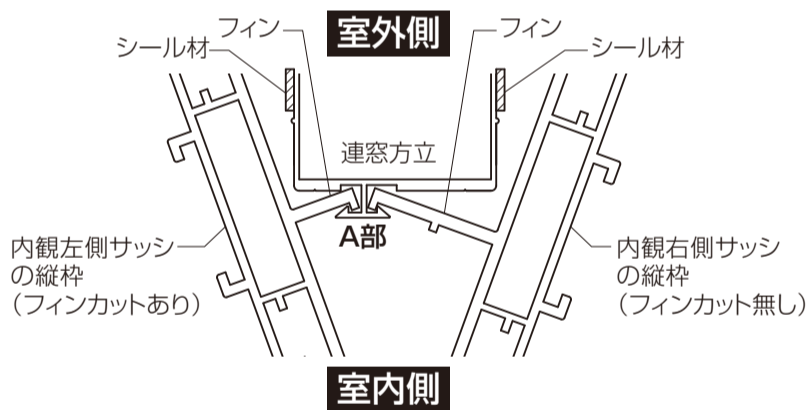
■部品一覧表

上キャップ	下キャップ
防水補助シール	方立端部キャップ

■組立て順序

1 連窓方立との連結

①連窓方立に張付けてあるシール材のリケイ紙をはがしてから、下記図のように連窓方立A部に、内観左側サッシ(フィンの短い方)の縦枠のフィン部を引っ掛け、サッシH端部と連窓方立端部を合わせて室外側の穴をすべてナベタッピンねじ①でねじ止めしてください。同様に内観右側サッシを連窓方立に連結してください。内観左側サッシの方立側縦枠のフィンはカットされています。連窓方立には、左右がありますので確認して、縦枠に連窓方立を合わせてください。



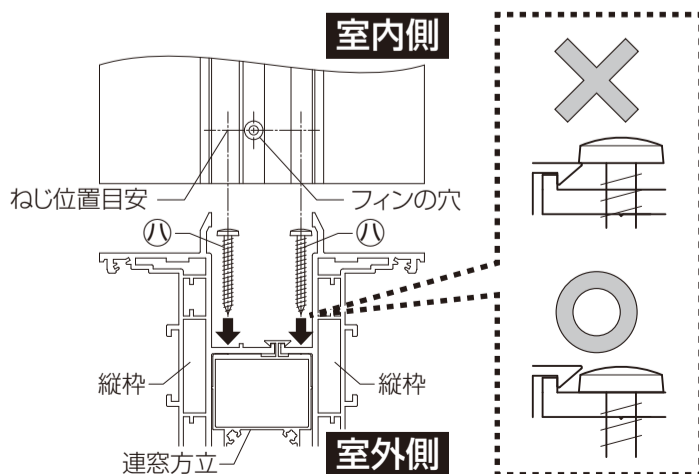
▲ 注意

- 方立に張付けてあるシール材のリケイ紙をはがしてから組立ててください。
- 連窓方立に張付けてあるシール材は絶対にはがさないでください。

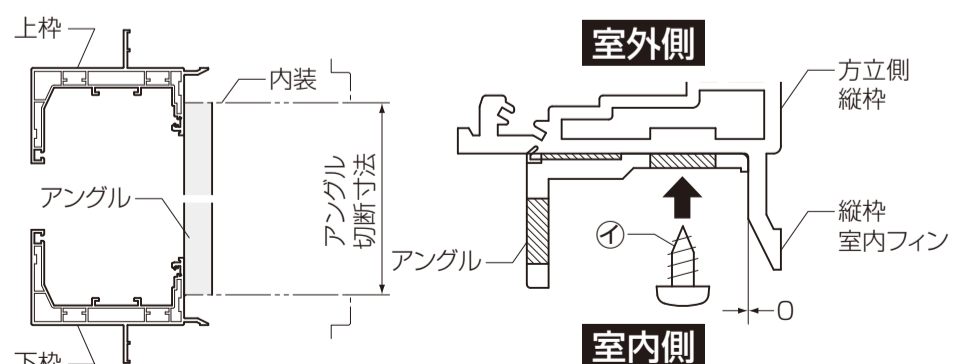
▲ 注意

- 縦枠と連窓方立が当たるまで引き寄せてからねじ止めしてください。

②反転して室内側をナベドリルねじ④でねじ止めしてください。
※内観右側のサッシのフィンの穴を目安にねじを取付けてください。
※ねじの頭がしっかり着地する位置で取付けてください。

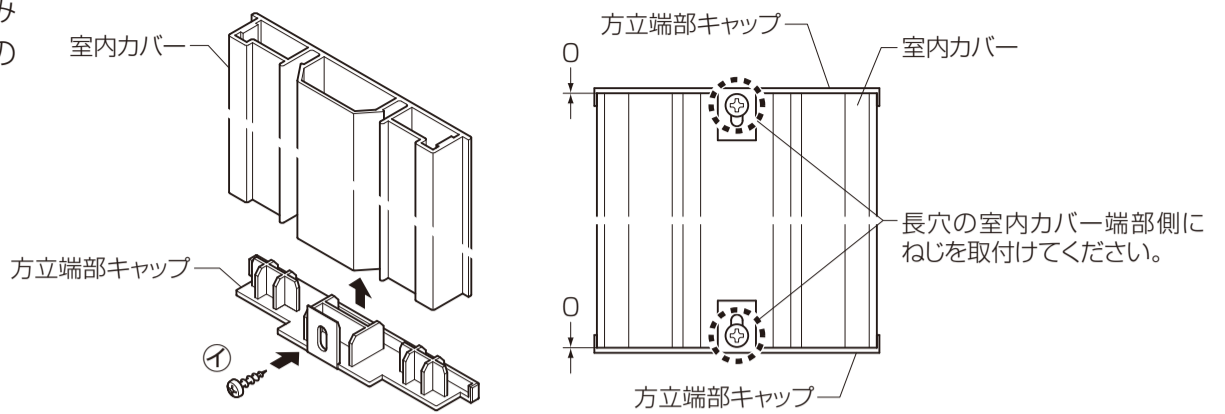


※アングルなし枠の場合、③～⑥は現場内装仕上げ後の作業となります。
③アングルなしの場合は、同梱のアングルを内装の内々寸法に合わせて切断し、方立側縦枠にねじ止めしてください。

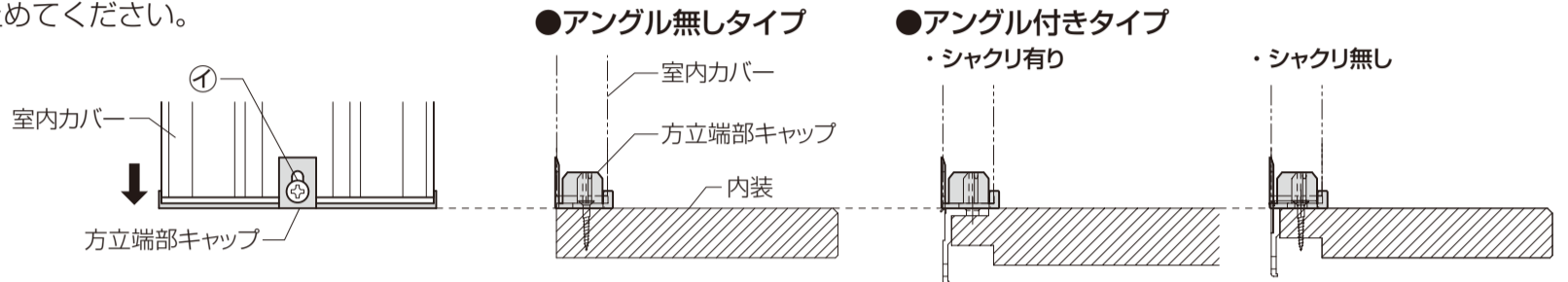


※室内カバーはアングル長さ-4mmで切断してください。
※アングル付の場合は上記加工は必要ありません。

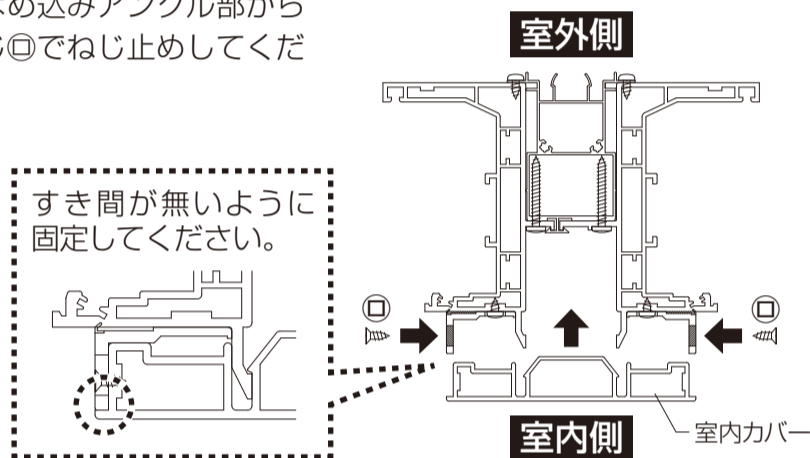
④室内カバーの上下端部に方立端部キャップを差込み
ナベタッピンねじ①でねじ止めしてください。その
際、図の位置にねじ止めしてください。



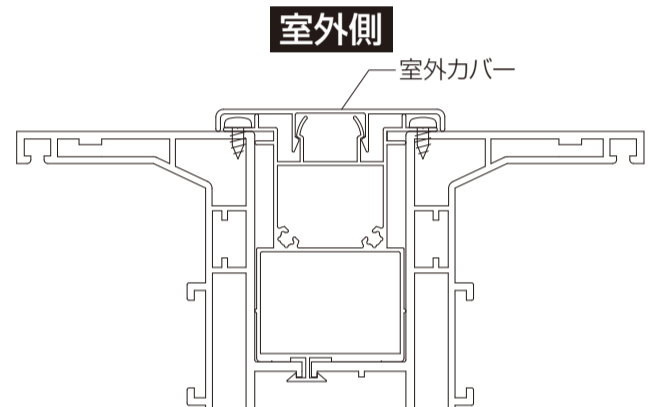
⑤室内側内装に合わせて、上下の方立端部キャップの位置を調整し、
なベタッピンねじ①を止めてください。



⑥室内カバーをはめ込みアングル部から
皿タッピンねじ②でねじ止めしてくだ
さい。



⑦反転して室外カバーをスライドではめ合わせてください。

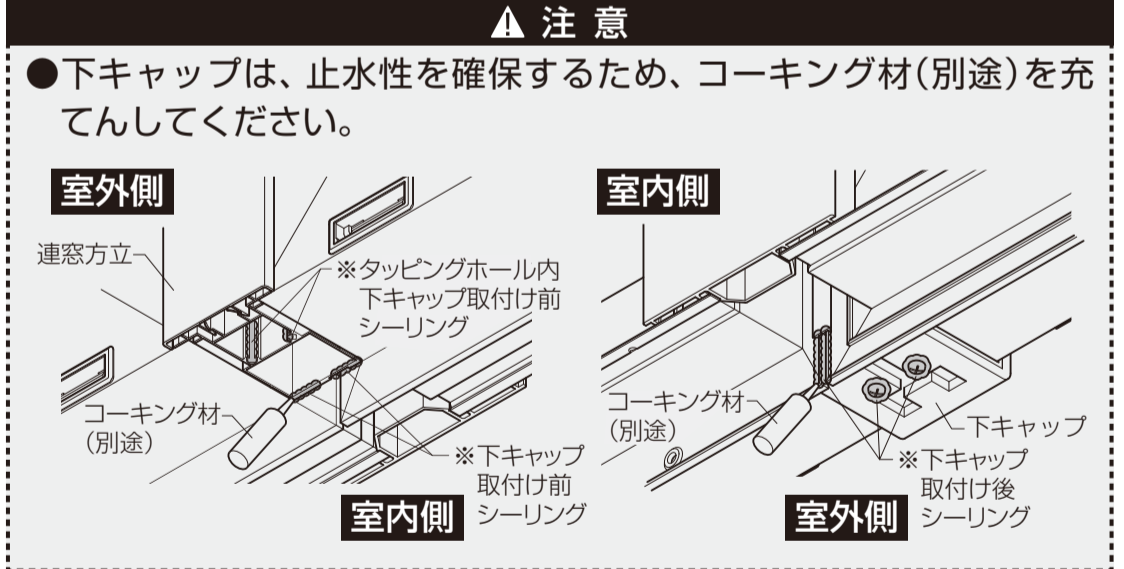
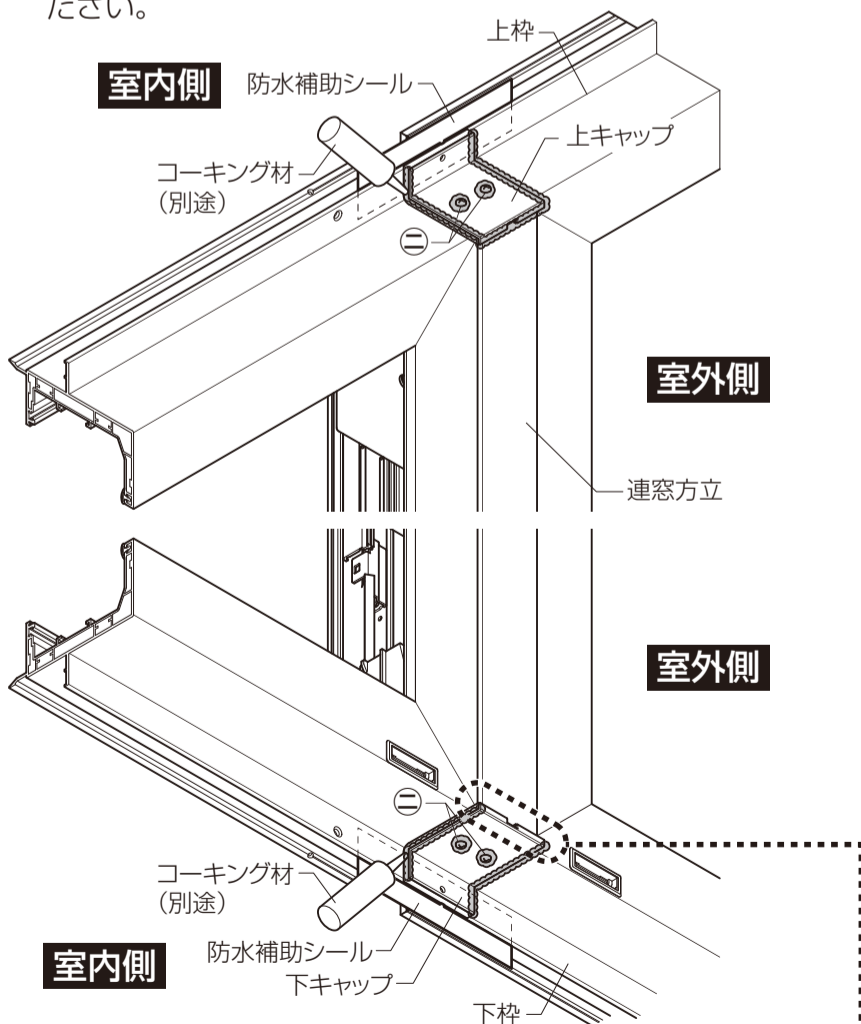


2 上・下キャップの取付け

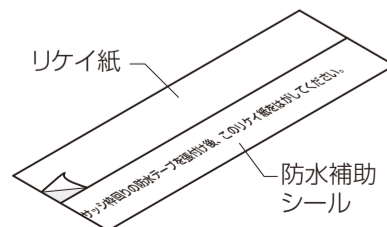
- ①下キャップ取付け前にタッピングホール内をコーキング材で充てんしてください。(右図参照)
- ②連結部の上・下にキャップをナベタッピンねじ②で取付けしてください。
- ③フィンの裏面より防水補助シールを張付けしてください。

▲ 注意
●上・下キャップ取付け前後、指定個所(☁部)にコーキング材(別途)を充てんしてください。

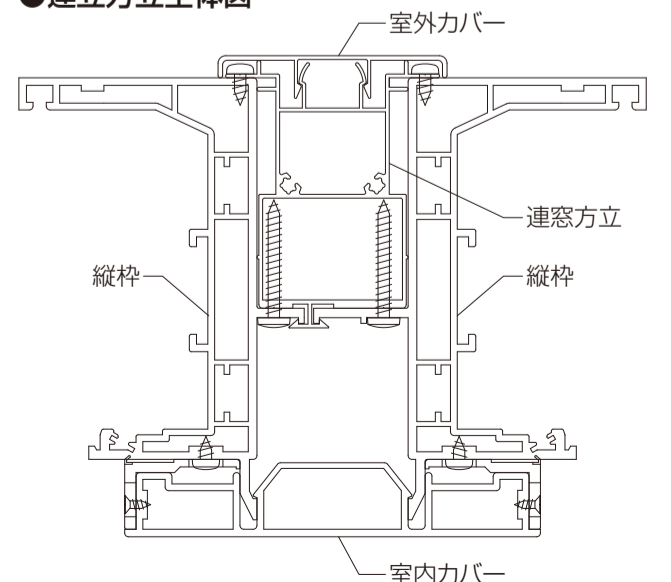
▲ 注意
●上・下キャップ取付け後、指定個所に防水補助シール(同梱)を張付けてください。



■防水補助シールの張付け
●片側のリケイ紙を半分はがし、フィンの裏面に張付けます。
※必ず文字の書いていない方はがしてください。



●連立方立全体図

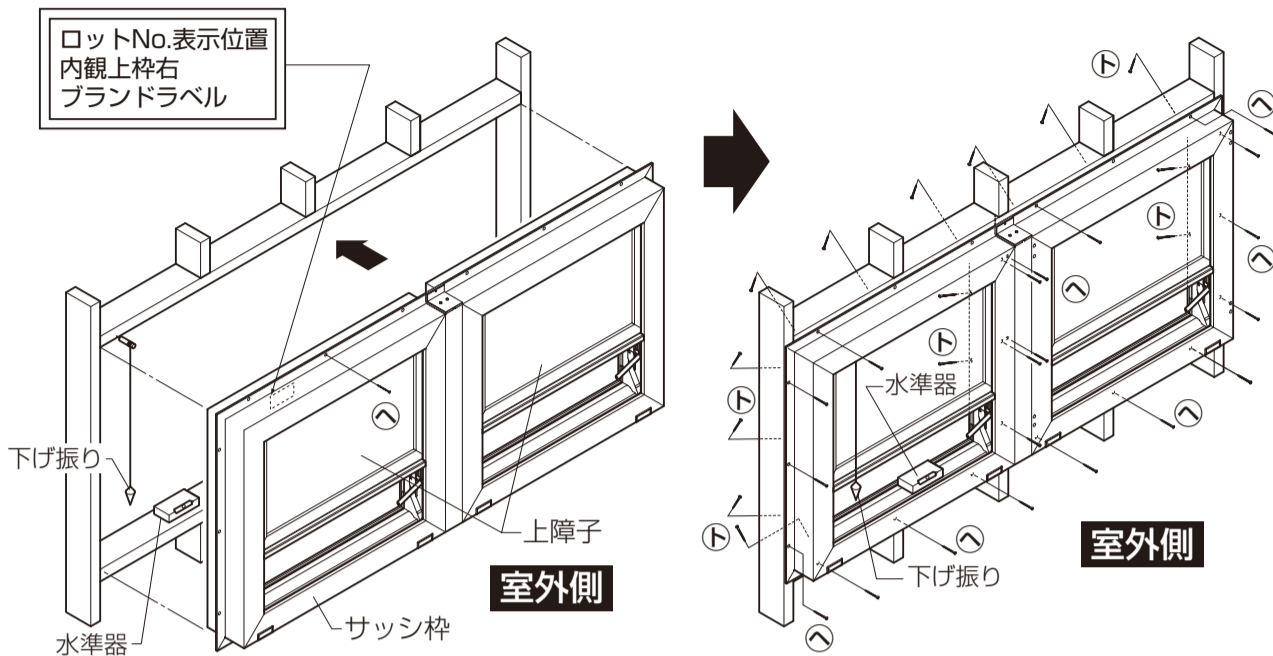


▲ 注意
●排水経路を確保するため、下キャップの前面部にはシーリングをしないでください。

■取付け順序

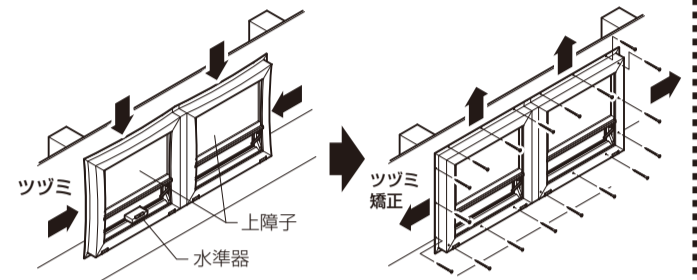
1 サッシ枠固定

- ①開口部の水平・垂直を確認し、仮止めしてください。
- ②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後固定してください。



お願い

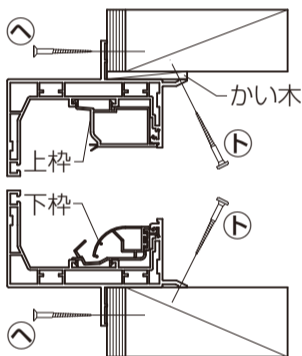
- ※枠の取付けの際には冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。
- ※樹脂サッシは構造的に枠の中央部がツツミになりやすいので、上障子を取付けた状態で枠を固定してください。



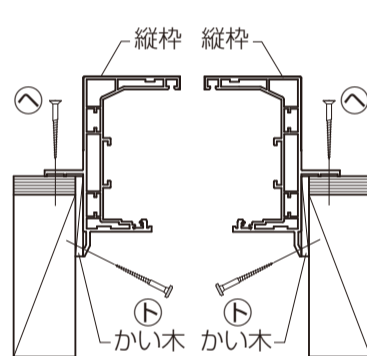
■取付け詳細

- ※○の枠取付けねじを先に固定してください。
- ※躯体とサッシにすき間がある状態で取付けると、気密材の当たりが弱くなり、気密性が悪くなります。すき間がある場合、必ずかい木を入れてください。

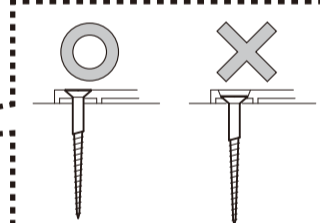
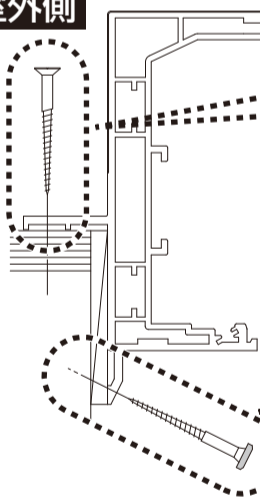
●縦断面図



●横断面図

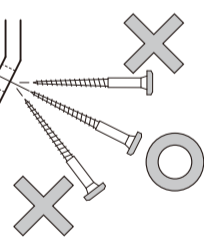


室外側



インパクトドライバーは使用しないでください。ねじが貫通したり、樹脂が割れるおそれがあります。

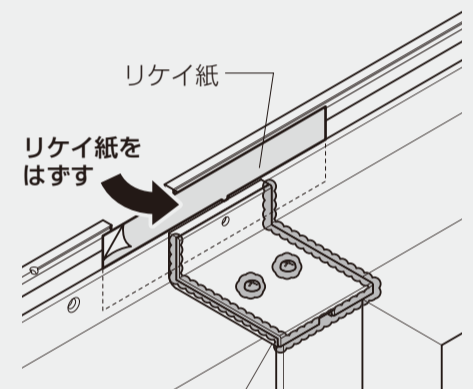
取付け穴に対してまっすぐに打ち込んでください。



室内側

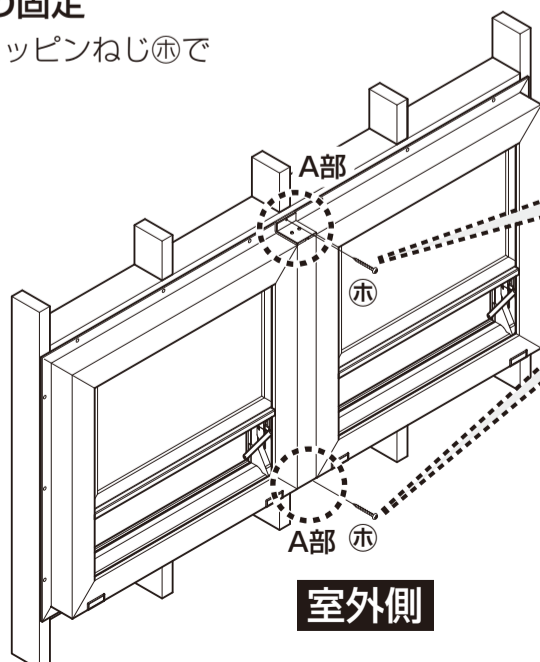
▲注意

- サッシ枠回りの防水テープ(別売り)を張る前に、必ず上・下キャップ回りの防水補助シールのリケイ紙をはがしてください。



2 上・下キャップの固定

上下キャップをナビタッピンねじ®で固定してください。



▲注意

- 漏水防止のため、上・下キャップは必ず指定のねじで固定してください。

■A部詳細図

